

令和5年度第1回 蓮田市総合振興計画審議会会議録

招 集 日	令和5年8月3日(木)	
開催場所	蓮田市役所 301会議室	
開催日時	開会 令和5年8月3日(木) 午前 10時30分 閉会 令和5年8月3日(木) 午後 11時50分	
出席状況 (委員)	会 長 中 山 和 久	出席・欠席
	副 会 長 奥 沢 信 男	出席・欠席
	委 員 荒 木 和 之	出席・欠席
	委 員 野 田 恵美子	出席・欠席
	委 員 山 田 慎太郎	出席・欠席
	委 員 加 藤 智 子	出席・欠席
	委 員 田 口 桐 子	出席・欠席
	委 員 寺 澤 亜希子	出席・欠席
	委 員 石 川 勉	出席・欠席
	委 員 平 林 光 子	出席・欠席
出席職員 (策定委員、 事務局)	<p>【蓮田市総合振興計画策定委員】</p> <p>市 長 山 口 京子 副 市 長 加 藤 繁 教 育 長 西 山 通夫 総合政策部長 山 口 亨 総務部長 新 井 宏典 環境経済部長 高 橋 司 健康福祉部長 森 上 和代 都市整備部長 増 田 吉郎 蓮田駅西口行政センター長 高 崎 達也 上下水道部長 小 山 猛 会計管理者 齋 藤 照雄 消 防 長 新 井 智 学校教育部長 安 田 修一 生涯学習部長 小 宮 雪晴 議会事務局長 栗 原 栄 監査委員事務局長 飛 田 康裕</p>	<p>総務部参事兼秘書課長 高 崎 裕美 環境経済部参事兼みどり環境課 町 井 孝行 都市整備部参事兼都市計画課長 金 子 克明 生涯学習部参事兼社会教育課長 横 田 修子</p> <p>【事務局】</p> <p>総合政策部次長 初 野 尚久 政策調整課長 小 嶋 抗 政策調整課副主幹 齋 藤 欣志 政策調整課主事 柏 木 涉</p>
傍 聴 者	2名	

1 開会	開会宣言
・会長挨拶	《中山会長より挨拶》
・市長挨拶	《山口市長より挨拶》
2 委嘱式	《山口市長より、加藤委員、山田委員に委嘱書の交付》
3 議題	<p>(総合政策部次長)</p> <p>続きまして、次第の2「議題」でございます。</p> <p>蓮田市総合振興計画審議会条例第5条第2項に基づきまして、これからの議事進行を中山会長にお願いしたいと存じます。中山会長、よろしくお願ひします。</p>
・定足数の確認	<p>《議長より定足数の確認》</p> <p>(委員10名中9名出席のため、会議の成立)</p>
・傍聴者の確認	<p>《議長より傍聴者の確認》</p> <p>(傍聴者2名)</p> <p>《会議公開の審議》</p> <p>(会議公開につき、傍聴者入場、資料配付、注意事項の説明)</p>
・蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について	<p>(議長)</p> <p>それでは、これより議題に入りたいと思います。本日の議題である「蓮田市第5次総合振興計画の進行管理について」を審議いたします。</p> <p>事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>《事務局から資料2について説明》</p> <p>(議長)</p> <p>ただいま事務局から蓮田市第5次総合振興計画の進行管理についての説明がありました。ご質問・ご意見等がございましたら発言をお願いいたします。</p> <p>(寺澤委員)</p>

資料2の48ページに記載されている「はなみずき作業所整備事業」なのですが、近所にあるので建て替えを見守っていて、大変綺麗な建物が完成したのを見ております。だいぶ建物が大きくなったのかなという感じがありますが、こちらの受入れ人数については増えたのでしょうか。

(健康福祉部長)

はなみずき作業所につきましては、定員が30名で、現在利用者24名です。今おっしゃったとおり、面積につきましては、約363㎡から約810㎡ということで、倍以上の大きさになっておりますが、定員につきましては、今のところ変更はなく、定員30名で進めていこうと考えております。

(奥沢副会長)

2点ほど意見なのですが、先ほど説明していただいた事業は、全て本当に大事な事業ですが、私が非常に興味を持っている事業は、82ページの「国指定史跡黒浜貝塚整備・活用事業」です。先ほど説明があり、概ね工事が完了しているという話でしたが、黒浜貝塚は、前々から蓮田市のメインになる遺跡だと思っております。2、3年前の東北の縄文遺跡が世界遺産になった時に、東北の対象地を10か所くらい見てきたのですが、それらと比べても、蓮田の方が立派だなと私は思いました。社会教育課が整備をしてきて、これからの課題としては蓮田の観光の目玉としてアピールした方が良いのではないかなという気がしています。東北の縄文遺跡と比べて、中身は十分匹敵していると思うのですが、観光地化しようというスタンスが少し違うのかなと。具体的には、いろいろ課題もあるのでしょうけれども、例えば、駐車場につきましても観光バスや乗用車がいつでも停まれるようにすることが必要かなと思いました。遺跡の整備の方は非常に結構だと思うのですが、今後の課題として、観光地化していくにはどうすればよいかというのを、他のアクセス等を考える部署を入れて考えてほしいなと思っております。

それからもう1点が、92ページ「産業基盤整備事業」についてですが、これも本当に大切な事業です。蓮田市は近隣市と比べると、人への投資を重視されてきて、産業基盤は少しこれからかなという気がするのですが、そういう中で高虫の整備事業を進めていただいて、非常にありがたいと思うのですが、具体的に市街化区域に編入する時期はいつなのか、また、企業の立地をする見通しがあれば、それを教えていただければと思います。

(生涯学習部参事)

黒浜貝塚は平成27年度から整備を進めてまいりましたが、令和4年度をもって、工事が完了いたしまして、大規模な工事は終了となりました。

た。今までは大規模な整備を進めていくにあたって、黒浜貝塚整備活用委員会に諮りながら、こういった形で整備を進めていくのかを決めてきたところなのですが、今後は、黒浜貝塚の保存と活用についてどうしていくのかの計画を策定し、活用と周知についてシフトを変え、検討を進めていきたいと考えています。

今後につきましては、関係各課とも連携をしながら、そういったところも進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(都市整備部長)

現在、高虫産業団地につきましては、市街化調整区域となっております。このままでは企業立地ができませんので、市街化区域に編入させる手続きを進めております。市の都市計画審議会、それから県の都市計画審議会に、年度内に諮問をできるように調整を図っているところでございます。都市計画審議会に諮問をしていないのに、いつまでにできますという言い方はできません。

具体的な企業立地の時期ですが、市街化区域に編入した後に、土地区画整備事業の認可をいただきまして、敷地の造成工事等に入っていきます。この地域につきましては、埋蔵文化財の抱蔵地がございますので、調査が必要になります。それから、道路や調整池の整備、基盤整備が必要となりますので、実際に企業立地をするまでは、あと数年は必要と考えております。

(奥沢副会長)

市街化区域に編入するためには、最終的には県決定が必要になりますが、県決定となるまで期間が長くかかりますが、既にそういう手続きには入られているのですか。

(都市整備部長)

既にその手続きに入っております。今のところは予定どおり進んでおります。

(奥沢副会長)

わかりました。それであれば、大丈夫です。

(議長)

ありがとうございます。順調に進んでいるようで、何よりです。他にご質問、ご意見ございませんでしょうか。

(野田委員)

37ページの小・中学校大規模改修事業が達成となっておりますが、

次々と小中学校が老朽化していて、次々と改修するのは良いことですし、私達も体育館を使わせていただいて、良くなっているのを見ていますので、助かっています。ただ、スポーツの器具がとても古くて、ネジが外れているものとか、モップを使おうにも、モップが真っ黒だったりとか、ちょっとしたことなのですが、私達が使うだけではなく、子どもたちも使っているので、危険じゃないかなという器具が多いです。全部の小学校かどうかは分かりませんが、蓮田南小はできたばかりなので、綺麗ですが、他の小学校はすごいです。大きな校舎を直すとか、改修もそうですし、増築もそうですけど、そういう小さいところはいつどうなるのかなと毎年思っています。

また、別の話となりますが、高齢化が進んでおり、自治会を抜ける人が増えていて、自治会を編成するのがとても大変になってきています。班が減ってきていて、何年かするともう役員がまわってくるという感じになってしまっています。高齢の少し下の私たちシニア世代も、抜けています。新しいおうちは建っているようなのですが、自治会員は増えていないです。人口は微妙に増えているようなのですが、自治会員は減っているのです、その辺の対策について、何か市役所では考えているのかなとっております。

(学校教育部長)

学校の体育館の備品に関してなのですが、毎月安全点検を行いながら実施をしているところなのですが、やはり個々の用具はより細かく見ていくように確認をしていきたいと思っております。ネジが一つ外れているだけでも大きな事故につながりかねませんので、特に、学校外の方も使うということも踏まえて、見直していきたいと思っております。また、予算の範囲内で新しいものへの切り替えを行っていききたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(環境経済部長)

自治会の加入率は、たしかに年々減っている状況でございます。なんとかして、増やしたいとは考えているのですが、なかなか皆さんの価値観、考え方が違っていることもあり、増えない状況です。現在、自治連合会の方から加入した場合の特典のようなものを考えたかどうかというお話をいただいておりますので、どういうやり方が良いのかというのを検討しております。今後も加入者がどうすれば増えるのか考えてまいりますので、よろしく願いいたします。

(田口委員)

95ページの「サービスエリア活用事業」というところで、今私達は蓮田市農商工連携推進協議会という組織を形成し、農業者代表と観光

協会サービスエリアを活用して、蓮田市の振興をしております。

商品には、はすびいグッズがありますが、とても人気で製造が追いつかないという話を聞いております。

その中で、蓮田市のサービスエリアとしての特徴を出したいということで、現在サービスエリアの方からもお話があって、蓮田の土産物とか、蓮田市の方が買い物に行かれていますということもあるので、日常生活で使える商品を、会議をしながら模索しているという動きがございます。

実は、娘が友達と一緒にサービスエリアに遊びに行っていて、近くに友達と一緒に過ごせるところがあるのは、本当に素敵だなと思いますし、学童の帰りに、忙しいお母さん達が生活ルートを考えてときに、寄ることができて、良い位置にあるのかなと思います。

こういったことをお聞きして、何か周辺の土地利用などで発展すると、すごく良いエリアになるのではないかなと思ひまして、土地利用についてお聞かせいただけないかなと思ひております。

もう一点が、100ページなのですが、「地産地消の推進事業」ということで、蓮田市農商工連携推進協議会では、学校給食のため、地元野菜を学校にお届けさせていただいております。

それから、学校に収めるだけではなく、蓮田市内のお祭り等で野菜販売がもともとあったのですが、コロナの影響でお祭りが開催されない内に、農業者の団体が高齢化で解散してしまったというお話がございました。そのため、蓮田市農商工連携推進協議会としてお話をし、団体の農業部会の方でご協力をしていただけるということで、椿山のお祭りや市民まつりで、野菜販売をさせていただこうと考えております。野菜を出してほしいという声があるということは、市民の方も新鮮なお野菜を求めているということだと思います。その中で、蓮田市からもお話をいただきながら、蓮田市農商工連携推進協議会としても協力できればと思ひておりますので、こちらはご報告というところもありますが、蓮田市から依頼を受けて行っておりますので、是非、地産地消の成果としてお考えいただければと思ひます。

(議長)

では、まずサービスエリアの周辺土地利用についてお願いします。

(都市整備部参事)

本日皆さんのお手元に蓮田市第5次総合振興計画の概要版の資料がございますでしょうか。こちらの4ページを開いていただきますと、土地利用構想というのが載っております。お話がありました蓮田サービスエリア上り線のスマートインターチェンジ周辺でございますが、この表で言いますと、下から4番目の「新蓮田サービスエリア周辺ゾーン」ということで、総合振興計画上は、「シティセールスの新たな拠点として位

置げます。」となっております。本編の方では、28ページになるのですが、「川島地区で整備を進めている東北自動車道蓮田サービスエリア（新上り線）とスマートインターチェンジの周辺をその立地条件を生かした新しいシティセールスの拠点として位置づけ、地域の活力を高めるまちづくりを進めます。」と記述がございます。こちらにつきましては、サービスエリアができる前は、農地だったのですが、サービスエリアができ、スマートインターチェンジが開通したことにより、周辺の土地利用のポテンシャルは大きく変わり、高まっている状況の中で、都市計画マスタープランという総合振興計画をベースにした部門別の計画ですが、そちらでは都市的ゾーンと位置付けておりますので、今後はいろいろと検討を進めていくということになっておりまして、今、地元の方々も任意の組織ができているようなので、その方々の意向も伺いながら、方向性を検討していくというような状況でございます。

（田口委員）

関越自動車道と東北自動車道を管轄しているのがネクスコ東日本で、サービスエリアを管理しているところがネクセリア東日本ということですけれども、サービスエリアについて協議した中でお話があったのが、実は、蓮田サービスエリアが、一番売り上げが高いのだそうです。すごくよく売れていて、コロナの影響で全体的にサービスエリアの売り上げが一時期下がっても、蓮田は下がらなかったということです。その分析はネクセリア東日本さんがされて、どうも地元の方が使ってくれたことが、下支えをしてくれたということのようです。

やはりサービスエリアは広いスペースを使用するので、山の中とか行きにくいところにあることが多いようなのですが、蓮田市では街に近いため、効果が出たということです。ネクセリアさんもますますここに力を入れていきたいということをおっしゃっていたので、周辺利用も含めて活性化していけると、蓮田市の中で皆さんに喜んでいただけるスポットになって、活性化につながるのではないかと思いますので、是非よろしく願いいたします。

（議長）

サービスエリアを一回出て、EVチャージをしても料金が変わらないという話が出ておりますが、そういうEVチャージができるようなモデルがあるとすごく便利ですよ。またご検討をお願いいたします。

では、続きまして、地産地消の推進事業と夏祭りの出店について、よろしく願いいたします。

（環境経済部長）

地産地消等についてでございますが、コロナ禍で、各所の祭りが中止

となりました。一番大きなお祭りですと、農業まつりがあるのですが、こちらも3年間中止となっております。令和5年度は農業まつりを実施したいということで打ち合わせを進めてきたのですが、農業従事者が高齢化しているということと、市の職員も3年間で入れ替わってしまっていて、ノウハウがなかなか引き継がれていないということもございますので、今年は小さなことから始めようということで、他のお祭りに店舗を置かせていただく形で進めようと考えております。

農業まつりということではないのですが、人間総合科学大学の学園祭の中でも農産物を販売するというのを進めております。また、東京都北区と災害協定を結んだのですが、こちらも祭りで、農産物を販売したいと考え、進めております。いろいろなことを進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(田口委員)

いろいろお考えいただいて、ありがとうございます。いろいろなイベントが今年復活するというお話をあちこちで聞くのですけれども、本当にここで入らないと、せっかく皆が求めてくださっているのに、野菜販売がない状態で復活を遂げてしまいます。蓮田市は小さなイベントから大きなイベントまで野菜販売があると聞きますので、私たちも求められれば出していきたいと思っております。夏の時期は結構難しく、バリエーションを揃えにくくて、実は秋に向けての切り替えの時期だったりもするのですが、お米や加工品も入れながら、是非皆さんに認識していただいて、農業の方も、やはり皆さんの笑顔を見られてご意見をお伺いできるのはすごくプラスになりますので、そういった形で、共に進んでいければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(平林委員)

一市民としてこの会議に参加させていただいて、今2年目になるのですけれども、蓮田市からの情報の発信の仕方で思ったことがあります。こういう審議会に参加するようになってから、少し蓮田市の情報を深く見るようになって、こんな支援があるのだなとか、こういった奨励金があるのだなと気付くようなことがあるのですが、対象者にその情報が届いていないのではないかなと感じました。

例えば、私の場合で言いますと、スポーツで全国大会に出た人に奨励金が出るということを知ったのですが、やはり対象者にはその情報は届いていないし、申請の仕方も分からないということがありました。あとは、情報発信の仕方で以前、蓮田市の道路が冠水したことがありましたが、ラインに登録していて蓮田市からのメッセージをもらって、冠水した場所がどこかなと思ったのですが、文字だけでしか書いていないのですね。市道何号線としか書いてないので、地図があつたらいいなと思っ

たりとか、そういった小さなことなのですからけれども、もう少し情報の発信の仕方、対象者に届く発信、あるいは分かりやすい発信をしていただければいいなと思いました。

(議長)

ありがとうございます。

防災方法の今後の情報発信について何かございますでしょうか。

(総合政策部長)

貴重なご意見をいただいたのですが、たしかに災害情報というのは、すべての人に同じように分かりやすく情報を届けるというのは理想ではあるのですが、デジタル化されたものが苦手な方がいらっしゃいました。高齢の方や目が見えない方、耳が聞こえにくい方もいらっしゃいます。そういった中で、最新の情報発信としては、防災無線という一つの手段がございます。しかし、防災無線というのは、言葉ですので、大雨が降ったりしたときは聞き取りにくいです。そういった時に、防災無線と同じ内容を安心安全メールや場合によってはライン等、それからテレビ埼玉のデータ放送を通じて、皆さんに情報をお届けしているところでございます。ただ、それもどこを見たら良いのか分からないという周知の部分に関しては、まだまだ皆さんに浸透していない部分がございますので、これからもなるべく正確な情報を正しくお届けできるように改善を進めていきたいと思っております。どうもありがとうございます。

(生涯学習部長)

今、平林委員から出たお話に関しましては、まだまだ知っている人は知っているけれども、知らない人は知らないという状況がございます。周知の方法や年間通じての回数について多く周知するように指示をしておりますので、今後より広く伝わるかと思っております。

(議長)

なかなか通信も多様化しておりますので、届けるのが大変な部分があるかと思いますが、よろしく願いいたします。

(山田委員)

本日から参加なので、もし被っていたら申し訳ないのですが、136ページのシティセールスの部分で農業や情報発信のお話がありましたが、ここはすごく重要な部分だと私は認識していて、一昨日のニュースだったと思うのですが、ふるさと納税が非常に好調だということでした。

私は商工会に所属していますが、外貨を稼ぐという意味では、お祭り

やイベントをしっかりと発信していくことが必要だと思います。考えているのが、観光協会や農商工連携推進協議会がそれぞれ個々に全力で発信されていて、広報をある程度取りまとめているのは、商工課、あるいは広報広聴課のお仕事になるのではないかなと思っていて、その辺のお考えをお聞かせいただければと思います。

(総合政策部長)

ご指摘いただきましたとおり、令和2年度から4年度までは、なかなか外に出ていく機会がなかったというところがございました。ただ、昨年度はいくつかの機会を捉えて、東京ドームにはすぴいが行ってみたい、ある映画のエキストラとして出演してみたいということがございました。今年に関しては、3月に東京都北区と災害時応援協定を結ばせていただきまして、それをきっかけとしまして、先ほど環境経済部長からもお話がありましたが、10月7日、8日に東京都北区で行われるお祭りの方に農政課と観光協会がお店を出店させていただき予定でございます。その他にも、はすぴいがあちこちに出歩く準備をしております、今年健康福祉祭りの時には、はすぴいのお誕生会も併せて同時開催をさせていただいて、他の自治体のキャラクターにもたくさん来ていただくような形で準備を進めているところでございます。

これからシティセールスというのは、蓮田市にとって非常に大事なものでございますので、皆様からの意見を生かしながら、着実に進めていきたいと考えております。

(荒木委員)

高虫の産業団地の件なのですが、普段蓮田の事業者の方々と接していると、やはり蓮田の目玉として興味を示すのですが、どこまで進んでいるのだろうか、全然進んでいないのではないかなというのが一般的な認識です。でも、先ほどのご説明だと、多分これは足が長い話で、手続きも複雑ということで、着実には進んでいるのだと思うのですが、その全体的なスケジュール感を示して、その進捗状況を開示できるのであれば、事業者の方々も、蓮田の目玉である高虫産業団地はここまで進んでいて、今後こういったことがあるということが分かって良いのかなと思います。

(都市整備部長)

高虫産業団地は、都市計画の手続きが進んでございますが、これを進めることができたのは、本年の3月に国・県との事前協議を取りまとめることができたという、いわゆる国・県の内諾を得ることができたということが大きかったと思います。農業系の土地利用から工業系の土地利用に変えるためには、農林部門の承諾が必要になりますが、これが大変

高いハードルでございまして、何年もかかってようやくここまで来ました。今年度は、都市計画の手続きをしております、都市計画法に基づく原案の縦覧等がございまして、ホームページには載せているのですが、なかなか専門用語が散りばめられているものでございますので、一般の方にはそういったものが分かりにくいのかなと思います。

いずれにしましても、皆様から大きく関心をいただいているというのは大変ありがたいお話でございまして、議会の方からも情報発信をもっとしっかりというお話も届いておりますので、現在手続きの途中なので、出せる部分と出せない部分がございますが、その辺はよく見極めながら行っていきたいと思っております。あくまでも目標ではございますが、令和6年度内には土地区画整理事業の認可まで取得したいと考え、調整をしているところでございます。情報発信については、その都市計画の手続き状況を見ながら、行っていきたいと考えております。

(荒木委員)

例えば、高虫の話だけではなく、先ほどのサービスエリアの周辺の土地活用とか、市内外で注目されやすいものの全体的なスケジュールや進捗状況があると、蓮田はこんなことを行っているというのが市内外に分かって良いのかなと思うのですが、それが高虫やサービスエリア周辺だけではなく、目玉となるようなものを発信していただけると良いかなと思います。

(都市整備部長)

市は、高虫産業団地を最優先で進めているのですが、先ほど国・県との事前協議は取りまとめができたとお伝えしましたが、本協議はまだ残っています。こういった状況の中で、サービスエリア周辺土地や他の地域の土地利用を変えるという話はできないので、1つずつ行っていくしかないと考えております。まずは、高虫産業団地の手続きをしっかりと行い、そしてその次にどうするかという形でございます。今、いろいろな地域の方から高虫が進んできたので、早くうちの方もやってほしいというお話もいただいております。その辺については、しっかりと受け止めておりますが、公表する時期については、考えていかないと、国や県から、高虫を進めているのに何をやっているのかと捉えられても困るので、本当に歯がゆいかもしれませんが1つずつ行っていきたいと考えております。ご理解をよろしく願いいたします。

(加藤委員)

私は主婦でして、住んでいるところが東なので、その辺中心の話になってしまうのですが、今、子どもが3人いまして、毎日この暑さで家にいるのが当たり前になっていて、蓮田の中で遊びにいくとすれば児童セ

ンターか公園なのですが、この暑さだと公園にも子どもがいない感  
ず。コロナ前は根ヶ谷戸公園に水が張ってある状態だったので、そこ  
は少し涼を取ることができましたが、今は水がなく、岩だけがごつご  
つとしているだけなので、もう少し涼しく休めるようなエリアがあれば良  
いと思います。涼める遊び場がサービスエリアの限られた場所しかな  
いので、プレックス蓮田も活用できれば良いなと子どもを持つ家庭は考  
えていると思います。児童センターについても、白岡の児童センターは、  
半日くらいは居られるほど充実しています。でも、蓮田の児童センター  
は古いし、あまり長く遊べないので、もう少し蓮田市内で涼める場所を  
増やしてくれるとありがたいと思います。

(環境経済部参事)

まず、根ヶ谷戸公園でございますが、先週の金曜日に試験で水を流し  
まして、土曜日から本格的に水を流しているところでございます。また、  
公園の日陰なのですが、四阿という4本足で屋根だけの建物があるの  
ですが、なかなか全公園に整備するのは難しく、また、今ある四阿も老朽  
化しているところもあるのですが、更新していくのが難しくなっている  
ところもございます。あとは、藤棚等においても日陰があり、涼を取っ  
ていただくという方法しかなく、なかなか難しいところがございませ  
ので、ご理解をいただきたいと思ひます。

(健康福祉部長)

健康福祉部におきましては、図書館、中央公民館、関山分館、パルシ  
ー、ハストピア等々の市内の公共施設10か所をまちのクールオアシス  
として設定しております。そうしたところが、冷房がかかっております  
ので、自由にお子さんを連れて来ていただいて、休憩できる場所とい  
うことで設定しておりますので、改めて用事があるというわけではな  
くても、涼を求めてご活用いただければと思ひます。

(生涯学習部長)

児童センターの遊具については、私も春先に見て、足りない、古いと  
いう印象は持っております。是非、こういったものがあつたらという具  
体的な要望をいただければと思ひますし、更新の方も考えたいと思  
っております。

(加藤委員)

遊具の件で、我が家の子どもは中学生と小学生まで育つたので、小  
さい頃から使っていた遊具はもう使わないのですが、私の妹の子ども  
が3歳になったばかりなので、もうだいぶ古くなってしまったので  
すが、うちの子が使っていたものをその子に使ってもらっています。もち  
ろん古

くなってしまうのですが、市民の方で古くなった玩具の寄附をできないのかなと思いました。新しく買ったものが安全かもしれないですが、リサイクルと考えると、もちろん、プラスチックとかは劣化してしまうので使えないと思うのですが、木の玩具は使えると思います。結構長く使えんと思って買って、幼児期はすぐに過ぎてしまうので、そこで使えなくなってしまうのはもったいないと思います。捨てる機会を逃して残ってしまっていると思いましたので、市で呼びかければ、出てくると思います。

(生涯学習部長)

リサイクル関係の子どものイベントを実施している団体もございますし、市のイベントとしても準備しておりますので、そういう場所が1つ考えられます。また、先ほどおっしゃっていた木の遊具は安全性の面でも人気があって、なおかつ値段も高いということもございますので、そういったもののリサイクルにつきましては、保育課等と相談をしながら、今後機会を作っていきたいと思います。

(環境経済部参事)

リサイクルの件ですが、蓮田白岡環境センターにリサイクルプラザがございまして、そちらでリサイクルの玩具等を販売したりしております。また、環境センターの取り組みとして、ジモティと連携をしまして、交換ができるというものがございますので、一度環境センターにご連絡していただいて、ご利用していただくと有効活用できると思います。

(加藤委員)

私も活用をさせていただいて、捨てるのがもったいないと思うものを持っていつているのですが、一方で、買って帰ることがあまりないものですから、もう少し賑わっているとリサイクルが回っていくと思います。

(議長)

何かイベントとかを行うと利用しやすいかもしれないですね。

(荒木委員)

今年の2月に、銀行とは全く関係ないところで、何か地域貢献をできないかと思ひまして、うちの従業員で子育てを終えた世代が絵本を余らせていたのですね。今絵本って結構高いですし、思い出もあるので、捨てずにいたというものが結構あって、うちの従業員の家から300冊くらいを集めて、それをどうにか皆さんに配れないかなと思ったのですが、そこで市の方にご協力いただいて、子育てコンシェルジュと子ども服の

リサイクルをおこなっている、ゆずりっことうちでコラボをして、パルシーでリサイクルイベントを行いました。もしかすると、そういうところで玩具とかも子育て関連としてプロモーションができるのかなと思いました。実際に、2月に用意したものはすぐにはけてしまったのですね。また、逆にそういったことを行っていたら、「すみません、うちにこういった古いものがあったのですが」とお持ちいただく方もいらっしたりしました。それをまた並べておけば、必要な人が持っていきました。

(議長)

恒例イベントになると良いですね。

(荒木委員)

多分そのリサイクルイベントは定期的に行っています。

(野田委員)

少しコロナの影響で回数は減ってしまったのですが、ゆずりっこは定期的に行っています。

(議長)

既存のものがあるのであれば、それを派生させて膨らませていくというのは良いですね。是非玩具の方もやっていただきたいですね。

(加藤委員)

自分が必要としている情報は集めるのですが、育ってしまうと、あまりそういった情報を見なくなってしまうので、つつい私もそういうのがあるのだと思ってしまったのですが、先ほどもお話がありましたように、情報が届くと、うちにもあると気付く家庭があるかと思います。うちもこういう役割をさせていただいて、だいぶ見るようになったのですが、市報の必要な情報のところに集中してしまって、広く見られていないのかなと思いました。情報ありがとうございました。

(寺澤委員)

先ほど、熱中症対策のお話があったかと思うのですが、市内の公共施設で涼める場所を作るということで、私はパルシーにいるのですけれども、パルシーの中に入ったら涼しいかということ、そうでもないです。

やはり電気代、重油代が上がっている中で、ぎりぎりの予算でまわしていると思うのですが、急にシールー一枚で、オアシスできますということで、シールー一枚が来たのですね。それに対して、エアコンを毎日たくさんつけるとはなっていないですし、もし具合が悪い方が来た時の熱中症対策グッズが配布されたという話も聞いていないです。

たくさんエアコンをまわすことによってお金が掛かることですので、予算取りをしていただいて、そういうのが揃って初めて市民の皆さんの安全を守れると思うので、その辺はいかがでしょうか。

(健康福祉部長)

指定した10か所について、ステッカーを貼っているだけで、中身がないのではないかというお話でございます。私共も、全ての施設については毎日の状況を見ているわけではないのですが、やはり設定したからには、その冷房状況やどういうスペースがクールオアシスとして使えるのか、確認したいと思います。それから施設によるのですが、一応経口補水液等の熱中症対策のグッズを用意はしていただいているので、必要な状況が発生したときにお渡しすることになっておりますが、用品の揃え方については、もう少し踏み込んでいきたいと思います。ご意見をありがとうございました。

(寺澤委員)

例えば、パルシーでは、夜遅くまでやっているのですが、職員の方が帰られた後も、管理される方がいるのですが、その方達に情報が行き届いていないと、具合が悪くなった時に対応ができないので、もう少し隅々まで、どのようなグッズがあるのか、また、こういったときはどうすれば良いか、温度が何度になったら冷房をつけましょうとかを具体的に管理する人に伝えると管理しやすいのかなと思います。

(健康福祉部長)

貴重なご意見を大変ありがとうございます。おっしゃるとおり、そういったところを徹底して、まちのクールオアシスとして謳っていきたいと思います。貴重なご意見を大変ありがとうございました。

(議長)

急に暑くなってきたという変化がありますので、なかなか追いついていけない部分があるのかもしれませんが、よろしく願いいたします。

他に何かございますでしょうか。

(質問なし)

それでは、そろそろお時間になりましたので、これで本日の議事を終了させていただきたいと思います。本日は活発な意見交換をしていただきまして、ありがとうございました。委員の皆様からの意見を踏まえ、執行部の皆様には、総合振興計画の着実な実施にご努力いただきますようお願いいたします。

これで、本日の議事を終了いたします。会議の進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。議事進行を事務局にお返しします。

4 その他

(総合政策部次長)

中山会長、ありがとうございました。続きまして、次第の3「その他」に移ります。

事務局からご連絡がございます。政策調整課長より申し上げます。

《事務局より連絡事項》

5 閉会

(総合政策部次長)

続きまして、次第の5 閉会でございます。

奥沢副会長から閉会のごあいさつを頂きたいと存じます。

奥沢副会長よろしく申し上げます。

《奥沢副会長より閉会のあいさつ》

(総合政策部次長)

ありがとうございました。

以上で令和5年度 第1回蓮田市総合振興計画審議会を全て終了いたします。ありがとうございました。